

小城で叶う

子育てと仕事の両立

少子高齢化が進むにつれ、女性の就業率が上昇しています。生産年齢人口(15歳以上65歳未満の人口)を基にした女性の就業率は、男女雇用機会均等法が施行された1986年は53.1%でしたが、30年後の2016年には66%と、約13%上昇しています。特に子育て期の25～44歳の女性の就業率は約16%上昇していて、育児や介護などと両立しながら仕事をするためには多様で柔軟な働き方が必要となってきました。今回の特集では、子育てと仕事の両立を支援する新しい働き方や、市内で活用できるサービスをご紹介します。

(参考:男女共同参画白書 平成29年版)

ママがお仕事している時間をお子さんが楽しく過ごせるように遊びのサポートをします。

ママがお仕事をしている間、お子さんは隣のキッズスペースで楽しく遊んでいます♪



佐賀県・初!
「ママスクエア小城店」誕生
 働きながら育児ができる
 ママの新しい働き方!
 自治体との連携は九州初!



子どもと一緒に通勤し、ワーキングスペースからガラス越しに見える位置にキッズスペースが併設され、専任のキッズサポートスタッフが子どもたちを見守る「ママスクエア」。「子育ても仕事も頑張りたい」お母さんたちの、新しい働き方として全国に広がっているママスクエアが小城市にオープンしました。

市は子育てオフィス実証事業として国の地方創生推進交付金や小城市への「ふるさと納税寄附金」を活用し、子育て中の母親の継続的な収入確保、社会復帰に向けたプランクの解消やスキルの習得、また、同じ悩みを抱える母親が集う新たな地域コミュニティをつくるため、子育てに合わせた柔軟な働き方を実現することができ、「株式会社ママスクエア(本社 東京都)」と連携を進め、「ママスクエア小城店」を1月17日、ショッピングプラザセリオ(牛津町)にオープンしました。

ママスクエアが佐賀県内に新店するのは初めてで、自治体との連携も九州では初めてとなります。

主な業務は営業支援やコールセンター業務などを行い、さまざまな企

ママスクエア小城店で働くお母さんに
初日の感想を聞きました。



キッズサポート

渡邊 まみさん(牛津町)

子ども連れで働けることにひかれ、応募しました。未経験でもきちんと研修をしていただけることも安心でした。これから子どもたちが安全で安心して過ごせる場所になれるように、また、お母さんたちが安心して自分の業務ができるような環境づくりを心がけていきたいと思います。



オペレーター

小松 京子さん(牛津町)

ゆめちゃん

上の子を出産後、仕事復帰をしようと思いましたが保育料も高く、なかなか働く機会がありませんでした。ママスクエアでなら、上の子が幼稚園に行っている間に、下の子と一緒に通勤できます。清潔感があっっておもちゃもたくさんあり、子どもも楽しそうに他のお友だちと一緒に遊んでいるので安心してしています。また、長期休暇の時は上の子も一緒に通勤できるところが嬉しいです。研修もしっかりしていただけるので、頑張りたいです。

お仕事前には
しっかり研修があるの
で、
プランクがあっても
大丈夫です。



株式会社ママスクエア

代表取締役社長 藤代 聡さん

この度、佐賀県初となるママスクエアを小城市にオープンしました。

ママスクエアは、2019年1月現在23拠点を運営しており、小城市は22拠点目となります。九州地域の中でも小城市とは、子育て環境の整備に対する想いに共通点が多くあり、この地で一緒に女性活躍支援を展開することになりました。

現在十数人のスタッフでスタートしていますが、今後さらに人員を増やし、子育てと仕事の両立がかなう場所として一層取り組んでいきます。

「働いている親の姿を子どもに見せることが、情操教育上もよい」と言われています。

ママスクエアはガラス一枚でキッズスペースとワーキングオフィスが隣り合っているので、いつでも働く姿を見ることができます。

佐賀県で初の店舗を小城市内にオープンできたことを大きなチャンスと捉えています。

皆さん、どうぞよろしくお願ひします。

ママはココで
仕事をしています。

シフトは希望制。
子どもの行事を
最優先できます！

AR



問 株式会社ママスクエア

ママスクエア で検索

業からの業務を担います。子どもの成長を見逃すことなく、一方で集中して仕事ができる環境が整っているため、キャリア継続を諦めたくないという希望をかなえる新しい働き方としても注目を集めています。

さらに、セリオ内に開設したことで、「仕事」「保育」「買い物」をまとめて行うことができ、利便性に優れています。

市では今後も「子は宝」を育む小城市づくりの実現に向けて安心して子どもを育てられる環境づくりを取り組んでいきます。

病後児保育

病後児保育を活用し、

親も子どもも

安心・にこにこ

昨年10月に小城市初の病後児保育室「にこにこ」が企業主導型保育施設「すまいる保育園」内にオープンしました。

子どもの病気やけがの回復期で、体調が万全でないけれど、どうしても仕事が休めない時などに利用ができます。

家にいるようなアットホームな空間で、看護師が子どもを見守り、体調に合わせてゆとり過ごすことができます。



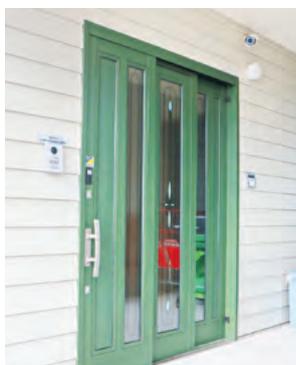
スタッフコメント

感染症対策にも力を入れていきますので安心してお預けください。また、子どもたちが甘えられる雰囲気心がけています。私たちが子育て世代だからこそ、親御さんの気持ちになってお預かりしています。

こだわりの感染症対策



高性能の空気清浄機でクリーンな環境



病後児専用の出入口

保護者の感想

仕事を休まなくてよいのは助かりますね。感染症だと親にうつす可能性があるので預けづらいたのですが、ここなら子どももゆっくり過ごせるし、給食が出るのもありがたいです。



- 利用案内 ●
- 対象年齢 / 1歳～小学6年生
- 定 員 / 1日2人
- 利用時間 / 月～金曜
8時30分～17時30分

- 料 金 ●
- ・1時間200円 ・提携企業1日1,000円

事前登録が必要ですので、まずは一度お電話を。
利用の際には医師による医師連絡表の提出が必要です。



問 病後児保育室「にこにこ」(すまいる保育園内) ☎37・3725 三日月町堀江288-7

病児・病後児保育

病気の子どもを小児科に併設した保育室で一時的にお預かりします。

ぞうさん保育室

(橋野こどもクリニック内)
佐賀市高木瀬

- 利用料金 ●

1日…1,500円+診察料
半日(5時間以内)…750円+診察料

☎31・0022

かるがものへや

(福田医院内)
佐賀市木原

- 利用料金 ●

1日…1,500円+診察料
半日(5時間以内)…750円+診察料

☎26・4114

スマイルルーム

(古賀小児科内科病院内)
江北町

- 利用料金 ●

1日…1,000円
半日(5時間以内)…500円

☎86・3890

(対象年齢) 生後2カ月～小学3年生 (利用時間) 月～金…8時～18時・土曜日…8時～13時
※事前登録が必要ですので、詳細は各保育室へ問い合わせください。

問 社会福祉課(西館1階) ☎37・6107

活用できるサービス
子育ての強いミカタ

ファミリーサポートセンター

(子育て相互支援事業)



核家族が増え、身近に頼れる人が
おらず困っている家族が増えています。
地域の支え合いでサポートし、子ども
の健やかな成長を応援します。

育児の手助けを「受けたい人」と
「行いたい人」が会員となり、
ファミリーサポートが仲介をします。



申し込み・問い合わせは

小城市ファミリーサポートセンター (桜楽館内)

料金

入会金

☎73・2700 (平日8時30分~17時15分)

1時間 400円~

無料

市の委託を受け
小城市社会福祉協議会が運営しています。
利用には、事前の登録が必要です。

利用会員の声

お母さん

さがら あさこ
相良 麻子さん(小城町)
せいた
晟汰くん(1歳)



何かあった時、夫や親に子どもを頼めない時でも、
子どもにストレスを与えずに預けられる顔なじみを作
っておきたいと思い、長男の時からファミリーサポ
ートを活用しています。金額の負担も少なく、子育ての
ベテランのサポーターさんが一対一で付いてくださ
るのでとても安心です。

子どもが2人いるとどうしても下の子に手がかかっ
てしまうため、長男と二人の時間をつくるために次男
の晟汰を預けたこともあります。長男としっかり向き
合えたことで、兄弟仲も深まっているように感じます。

また、報告書からどう過ごしたかが分かるので、家
とは違う変化や成長を知れるのも楽しみです。

それに、自宅だけでなく桜楽館で預かってもらえ
ることも助かります。大きいおもちゃもたくさんある
ので、良い刺激になっていると思います。

市内に出かけた時、サポーターさんから気軽に声を
かけてもらえるのも、つながりを感じてうれしいですし、
自分だけで子育てしているんじゃないと安心します。

協会の声

サポーター

谷口ヒロ子さん(小城町)



子どもに関わることが楽しくて始めました。子ども
は純粋なので、一緒にいると自分の心がほぐれるよう
な気がします。孫が遠方に住んでいるので子どもたち
から「ばあば」と言ってもらえるとうれしいですよ。

最近は働きながら家事、育児と頑張っているママが
多く、身近に親戚がいないママも多いですね。少し
でもそんなママたちの力になればと思います、細かいニ
ーズに対応しています。

私は、学童の送迎や日中の預かり、子どもの入浴サ
ポートなどを行っています。

自分が子育てをしている時は余裕がなかったので、
サポーターになった今は子どもの表情や気持ち、状況
をしっかり見るように心がけています。

どんなにかわいいわが子でも24時間一緒にいると、
きつい時もあります。ママの気持ちもいっぱいば
いになってしまいます。

短時間でも離れることでさらに子どもを愛おしく感
じるようになると思いますので、気軽に活用してもら
いたいですね。